

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	ウェルネススポーツ推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成18年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進計画

【事業概要】

現状と課題	市民マラソンプームが到来するなど、スポーツ活動の参加機会を求める市民ニーズは高まりを見せている。また、東京オリンピックの開催など、見るスポーツへの関心も高まっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツイベント開催により、市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	総合体育館を拠点としたトップアスリートによるスポーツ観戦イベント及びスポーツ教室の開催

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	2,008 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,008 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	030 ウェルネススポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	2,189 千円	2,844 千円	2,008 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>トップアスリートによるスポーツイベントの開催によって、競技スポーツの底辺拡大と振興を図り、市民のスポーツ・レクリエーション活動の参加機会を提供することのできる本事業は、施策の実現に不可欠である。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により当該事業の実施について、一部教室を中止するなどの影響がでた。今後は密を避けた開催方法や感染対策等を講じる等、これまでと違った運営方法の検討が必要となる。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネススポーツ推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スポーツイベント開催数	回	2	2	2
スポーツ教室開催数	回	3	3	0
活動指標分析結果	事業開始以降、開催数を徐々に増やしており、トップアスリートによるスポーツイベントの開催都市として徐々に定着しつつある。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、選手との接触のあるスポーツ教室は感染防止対策が十分にできないことから開催せず、見るスポーツであるトップアスリートの試合は開催することができた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
スポーツイベント来場者数	人	6,457	7,085	1,886	令和2年度	7,000
スポーツ教室参加者数	人	309	322	0	令和2年度	500
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	59.8	56.7	令和9年度	70
成果指標分析結果	来場者数等は年度により多少の増減があるが、事業開始時より増加傾向にある。見るスポーツの実施については、新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限を講じたことにより参加者が減少した。また、外出の自粛が求められたことにより、スポーツ・レクリエーションの機会が失われたものと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	ツデーマーチ事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成2年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川ツデーマーチ事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	本大会の参加者数は平成9年度にピーク（21,859人）を迎え、直近5年間では7千500人～8千500人で推移していたが、令和元年度のリニューアルにより40キロコースがなくなり減少。今後は市民がより気軽に参加できるウォーキングイベントとなるよう取り組む必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	1. イベント開催によるスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図るとともに、ウェルネスへの気付きの機会を提供する。2. 全国のウォーカーと地域住民等とのふれあいを通じて、にぎわいの創出や交流の拡大を目指す。3. 自然や歴史資源の再発見により市民のふるさと意識の醸成を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	2日間に渡り市内を歩くウォーキングイベントである「加古川ツデーマーチ」を企画・運営する加古川ツデーマーチ実行委員会に対して補助金を交付する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,700 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,700 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	005 ツデーマーチ事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	11,000 千円	11,000 千円	1,700 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和元年度第30回大会で内容・テーマをリニューアルし、歩くだけでない体験型イベントとして実施。観光資源の有効活用や市民のふるさと意識の醸成を図る手段として、また「ウェルネス都市」を体感できるイベントとしても当該事業を実施する意義は大きい。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により当該イベントの延期を余儀なくされた。今後は密を避けた開催方法や感染対策等を講じる等、これまでと違った大会運営が必要となる。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	ツォーデーマーチ事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者数	人	8,398	6,871	0
実行委員会収支予算額	千円	26,900	25,800	25,870
活動指標分析結果	参加者数は、平成9年度をピークに減少しているものの、平成30年度までの直近5年間では一定の水準を維持していた。令和元年度(第30回)からは、リニューアルとして40キロコースがなくなったため、参加者数は減少している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度へ延期したことにより参加者は0人。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
市内在住の申込者数	人	3,472	2,815	0	令和2年度	5,000
市外在住の申込者数	人	2,422	2,188	0	令和2年度	3,200
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	59.8	56.7	令和9年度	70
成果指標分析結果	当日の天候によって影響を受けやすい。参加者は市内・市外の比率はほぼ一定である。満足度との相関関係は不詳。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大によりイベントが開催されなかったため参加者は0人である。また、関連して外出の自粛が求められたことにより、スポーツ・レクリエーションの機会が失われたものと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	レガッタ普及事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進計画、レガッタ普及事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	直近3年の市民レガッタ出場チーム数は、140チーム前後で推移。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民レガッタ、関西学生秋季選手権、小学生ボート体験教室の開催、また、クルーの目標となる全国市町村交流レガッタ大会への出場機会を作ることにより、ボート競技の普及及びスポーツの振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	レガッタ大会や体験教室を開催し、ボート競技を通じて青少年の育成を考え、加古川流域のまちの活性化を図る加古川市レガッタ事業実行委員会に対して補助金を交付する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	191千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	191千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	055 水上スポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	7,774千円	3,134千円	191千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和元年度よりレガッタ普及に関する事業を漕艇センター指定管理者の業務とし、市の委託事業から補助事業へ変更した。民間活力による事業推進の効果については、今後の検証が必要である。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により事業全体が中止となった。今後は必要な感染防止策等、これまでと違った大会運営が必要となる。また、新たにカヌーの水面利用が可となったことから、市民への周知を図るとともに、一般利用に向けた準備を進めたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	レガッタ普及事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
全国ボート場所在市町村協議会収支予算	円	6,540,000	6,620,000	1,600,000
レガッタ普及事業委託料	円	7,287,000	0	0
レガッタ普及事業補助金	円	0	2,600,000	100,000
活動指標分析結果	交流レガッタは協議会加盟市町村の持ち回りで開催しており、開催地や大会内容によって予算が大きく異なるため、計画値・目標値の設定は馴染まない。また参加チームは、加盟市町村から一定数が出場するため、大幅な増減はない。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、サミット・レガッタ大会共に中止のため会費が5分の1となっているため減額している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
加古川市民レガッタ大会参加者数	人	768	859	0	令和2年度	1,000
漕艇センター利用者数	人	18,262	20,040	12,748	令和2年度	20,000
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	59.8	56.7	令和9年度	70
成果指標分析結果	参加者・利用者数は多少増減があるものの、一定の水準を維持しており妥当なものと考えられる。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一般利用者が減少したが、カヌースプリント選手団の強化合宿(令和2年10月~令和3年3月)実施により、一定の利用があった。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川マラソン大会補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成1年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進計画、加古川マラソン大会事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	15回大会（15年度）に、加古川みなもロードの創設にあわせ初のフルマラソンを実施。以降、現在までフルマラソンを継続実施。近年のブームで大阪・神戸などの大都市で相次いでフルマラソン大会が誕生するなかでも、申込者は6,000名以上となる状況。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	陸上競技の底辺拡大およびスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の拡大を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民参加型のフルマラソンイベント「加古川マラソン大会」を企画・運営する加古川マラソン大会実行委員会に対して、補助金を交付する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	025 社会体育補助事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	1,200千円	3,000千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民のスポーツ・レクリエーション活動の普及・促進を図る手段として当該事業の意義は大きいと見られるが、市の一大イベントとして多くの市民参加・参画に向けた仕組み作りを検討していく必要がある。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により当該イベントの延期を余儀なくされた。今後は密を避けた開催方法や感染対策等を講じる等、これまでと違った大会運営が必要となる。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川マラソン大会補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
申込者数	人	6,290	6,120	0
実行委員会収支予算額	千円	48,400	53,900	55,050
活動指標分析結果	大会の定員6,500名を少し割り込んでいる。実行委員会収支予算額は、市補助金及び協賛金収入の増減によって多少の増減はあるが、一定の水準で推移。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、次年度へと延期したため参加者は0人。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
市内在住の申込者数	人	1,016	924	0	令和2年度	1,000
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	59.8	56.7	令和9年度	70
成果指標分析結果	過去5年間の市内申込者の割合は15%~18%前後であるが、減少傾向にある。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大によりイベントが開催されなかったため参加者は0人である。また、関連して外出の自粛が求められたことにより、スポーツ・レクリエーションの機会が失われたものと考えられる。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	体育、レクリエーション指導振興事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	スポーツ基本法、加古川市スポーツ推進審議会条例、加古川市スポーツ推進委員規則

【事業概要】

現状と課題	平成30年3月に、今後10年間のスポーツ施策の指針となる「加古川市スポーツ推進計画」を策定した。計画の進捗管理を行い、市民ニーズに合わせてスポーツ環境の充実を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民スポーツの企画立案及び生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及、促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	スポーツ推進審議会、日ごろ運動・スポーツをする機会が少ない市民、スポーツ推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	スポーツ推進審議会によるスポーツ推進計画の進捗管理。スポーツライフセミナーなどの実施による、日ごろ運動・スポーツをする機会が少ない世代の市民に対するスポーツ啓発。市が委嘱したスポーツ推進委員の活動に対する報酬の支払い及び活動の補助。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,214 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,214 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	04 体育振興費
細目	005 体育、レクリエーション指導振興事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	2,949 千円	2,963 千円	1,214 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>スポーツ推進審議会においては、「加古川市スポーツ推進計画」の施策の進捗確認を引き続き行う。また、スポーツ推進委員会では、スポーツライフセミナーなどスポーツ実施率の向上に寄与する活動を進めるとともに、幅広い対象者が参加できるよう障がい者スポーツの普及を行っていく必要がある。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、スポーツライフセミナーなどのイベントが実施できなかった。今後も感染症の影響はしばらく続くことが予想されるが、適切な感染症対策をとることや、関係団体と連携を密にするなど、再開に向けた準備に努めたい。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	体育、レクリエーション指導振興事業	部局名	市民協働部
		課（室）名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
20歳以上の人口（4／1付住民基本台帳人口）	人	216,843	216,702	216,531
スポーツ推進審議会	団体	1	1	2
スポーツ推進委員数	人	48	48	48

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
スポーツライフセミナー開催数	回	10	10	0
スポーツ推進審議会開催数	回	2	1	2
スポーツ推進委員活動回数（延べ数）	回	266	279	77
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度はスポーツライフセミナーを実施できなかった。スポーツ推進審議会においては、予定どおりスポーツ推進計画における進捗管理等の必要事項について審議を行った。スポーツ推進員の活動についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、活動回数が減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
週1回以上運動・スポーツを行う人の割合	%	48.2	48.2	48.2	令和5年度	65
スポーツ推進審議会委員出席率	%	70	70	80	令和2年度	100
スポーツ推進委員の対市民指導者数	人	1,199	1,614	90	令和2年度	1,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響のためスポーツライフセミナーなどの開催ができず、市民に指導する機会が大幅に減ったため、スポーツ推進委員の対市民指導者数は例年に比べ減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	体育協会事業補助金交付事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市補助金等交付規則、加古川市体育協会事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	加古川市体育協会は創立80年の歴史があり、27の種目協会が、各種目の市民への紹介、また各競技における選手の育成に寄与している。また、市民ニーズの多様化により協会にないスポーツの対応や、高齢化による運営的な問題を抱える種目協会が増えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市のスポーツの競技団体を統括する加古川市体育協会を通じて、スポーツの普及や競技スポーツの強化、スポーツ振興を図るため、協会への補助を行う。
対象 ※誰、何に対して	加古川市体育協会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市体育協会の行う事業のうち、27の種目協会が行う市民大会等の支援事業、体育功労者及び優秀選手・優秀チームの顕彰、健康・体力づくり事業、国体出場者激励会に対して補助を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,583 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,583 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	04 体育振興費
細目	010 社会体育補助事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	1,888 千円	1,786 千円	1,583 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、スポーツ活動が制限される状況であったが、市民のスポーツ実施率向上に向け、各種目協会が創意工夫を凝らして市民が参加しやすい事業を実施しており、本補助金は有効に使われていると判断している。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	体育協会事業補助金交付事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市体育協会	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
健康・体力づくり事業 実施割合	%	67.8	62.9	37
活動指標 分析結果	市民がスポーツに慣れ親しむ場を提供する『健康・体力づくり事業』を各種目協会が企画し実施している。令和元年度は全27種目協会のうち、半数以上の17種目協会が実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、対象事業を実施する団体が10種目団体にとどまった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
健康・体力づくり参加 人数（一般市民）	人	1,756	1,508	210	令和2年 度	1,650
成果指標 分析結果	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、『健康・体力づくり事業』実施団体が例年より少なく、参加者も減少した。今後は、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、健康・体力づくり事業への一般市民の参加者を増加させるため、体育協会及び各種目協会が創意工夫を行い、市民がスポーツに慣れ親しむ場を拡大していく必要がある。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成30年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	共生社会ホストタウンに認定されていることから東京オリンピック・パラリンピック競技大会のビジョンの一つである「多様性と調和」を見据え、スポーツを通じた共生社会の構築が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	障がい者スポーツの理解と障害の有無にかかわらずスポーツに親しめる環境づくりをめざす。
対象 ※誰、何に対して	障害の有無にかかわらずスポーツに興味がある市民、スポーツ推進委員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	スポーツに親しむ機会の提供

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	31千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	31千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	04 体育振興費
細目	025 障がい者スポーツ推進事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	791千円	59千円	31千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	障がい者スポーツの認知度を高めるためには、実施機会の増加を図るとともに、継続したスポーツとなるよう関係部局や団体等と連携し、ニーズに応じた事業の実施が必要である。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	障がい者スポーツ推進事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
20歳以上の人口（4／1付住民基本台帳人口）	人	216,843	216,702	216,531

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
障がい者スポーツイベント回数	回	6	6	1
スポーツ推進委員における障がい者スポーツ活動者数	人	45	67	12
活動指標分析結果	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、障がい者スポーツイベントの実施回数が減少した。今後は、新型コロナウイルスの感染状況をみながら、平成30年3月に策定した「スポーツ推進計画」に基づき、引き続き関係部署と連携を図りながら障がい者スポーツの理解と普及にかかる事業実施に努める。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
障がい者スポーツイベントの参加者数	人数	250	564	90	令和8年度	600
スポーツ・レクリエーション活動の機会提供に満足・やや満足する市民の割合	%	58.7	59.8	56.7	令和8年度	70
成果指標分析結果	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、障がい者スポーツイベントの実施回数が少なく、参加者も減少した。今後は、障がい者関係部署との連携体系の構築や、イベント内容やPR方法などを検討し、効果的な事業実施に努める。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	ウェルネスパーク管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川ウェルネスパークの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	総合的な生活環境の創造、向上を図り、もって健康で文化的な市民生活を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	健康増進施設、音楽ホール及び図書館などの施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	338,675千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	270千円
	一般財源	338,405千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	306,767千円	332,524千円	338,675千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	ウェルネスパーク管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	40,335	33,713	27,244
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	557,598	379,595	252,211	令和2年度	476,400
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成9年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市ウォーキングセンターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	健康意識の高まりによりウォーカーの人口が増加傾向にあるなか、ウォーキングコースに隣接し、自然豊かな環境に位置する本施設を利用する方は多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自然とのふれあいを通じて自然への関心と理解を深め、自然環境の保全と歴史や文化に関する学習の促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設を適正に維持管理するとともに、施設を通じて身近な地域を散策し、自然への関心と理解を深める。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	6,526千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,526千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	060 ウォーキングセンター等管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	6,278千円	6,262千円	6,526千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。なお、隣接する見土呂フルーツパークの再整備に伴い、フルーツパークの一部としたうえで再整備に含める。また、ウォーキングセンターとしての機能は、再整備が開始される令和3年10月16日をもって終了する。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	ウォーキングセンター等管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	9	4,312	0
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は、新型コロナウイルス感染防止のため事業を中止したため、0人となった。なお、令和3年度から直営施設となるため、指定管理期間中と異なり自主事業やモニタリングは実施しない。また、隣接する見土呂フルーツパークの再整備に伴い、令和3年10月16日をもって見土呂フルーツパークの一部となり、ウォーキングセンターとしての用途を終了する。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	3,506	4,008	2,375	令和2年度	4,900
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。なお、令和3年度から直営施設となるため、指定管理期間中と異なり利用者数の目標値は設定していない。また、隣接する見土呂フルーツパークの再整備に伴い、令和3年10月16日をもって見土呂フルーツパークの一部となり、ウォーキングセンターとしての用途を終了する。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	すばーく加古川管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成21年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	尾上地区
関連根拠法令等	加古川市立屋内ゲートボール場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	尾上公民館が行っていた管理運営を平成27年度から教育委員会（社会教育・スポーツ振興課）が担っていた。年間250件程度の利用があるが、利用率が低いことから利用用途の拡大を検討する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	屋内ゲートボール場すばーく加古川の維持管理及び施設の保守を適正に行うことにより、利用者の安全性、快適性を維持する。
対象 ※誰、何に対して	屋内ゲートボール場「すばーく加古川」
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	屋内ゲートボール場すばーく加古川の維持管理及び施設の保守を図る。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	1,050千円	
財源内訳	国庫支出金	88千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	348千円
	一般財源	614千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	05 体育施設費
細目	005 体育施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	1,019千円	1,845千円	1,050千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>すばーく加古川はゲートボールの拠点施設として市民に利用されているが、ゲートボールの競技人口の減少にともない、利用率も年々下がっている。今後、ゲートボール以外のスポーツなど、すばーく加古川の施設利用の範囲については、利用率向上に向けた見直しが必要である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、閉館した期間があったことや、感染症への懸念から利用を控えられた団体があり、利用人数が大幅に減少した。今度も感染症の影響はしばらく続くことが予想されるが、適切な感染症対策を実施し、少しでも利用者数回復に努めたい。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	すぱーく加古川管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	266,154	264,847	263,524

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開館日数	日	310	302	256
施設利用率	%	29	27.8	26.9
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による緊急事態宣言中に閉館対応を行った期間があるため、例年より開館日数が減少した。施設の利用率についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から利用を控えられた団体があったため昨年度より低下している。 ※施設利用率は閉館期間を除外して算出。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数(実績)	人	9,030	8,457	5,034	令和2年度	10,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から利用を控えられた団体があったため昨年度より約60%利用人数が減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成13年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川スポーツ交流館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われているが、住民の健康志向の高まりを受け、施設の利用は順調に推移している。今後市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。また、令和元年度より指定管理者が交代した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。健康増進施設の利用を通じて積極的な健康づくりを支援する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	68,122千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	68,122千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	74,628千円	59,812千円	68,122千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	スポーツ交流館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,190	66,811	33,519
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	148,234	133,202	73,897	令和2年度	155,600
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成12年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川海洋文化センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づき、民間事業者により管理運営が行われているが、子供連れの家族を中心に施設を利用する者は多い。今後も市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。また、令和元年度より指定管理者が交代した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域の人々の交流を促進する複合文化施設の役割を果たす。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の適正な管理運営を行うとともに海洋文化に関する知識の普及を図る。

【コスト】

		令和2年度(決算見込)
事業費合計		88,883千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,008千円
	一般財源	87,875千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	77,794千円	82,780千円	88,883千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く満足度も高いため、引き続き施設の運営を図っていく。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	海洋文化センター管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	18,733	1,652	1,104
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	196,299	166,165	105,206	令和2年度	235,700
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	志方体育館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立志方体育館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、周辺地域の住民を中心に多くの利用がある。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	7,204千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	7,204千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	5,910千円	5,573千円	7,204千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	志方体育館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	2,319	1,976	1,581
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	25,666	27,202	23,188	令和2年度	29,100
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	志方東公園テニスコート管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われているが、今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	4,401千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,401千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	3,214千円	3,685千円	4,401千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	利用者の満足度も高く引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	志方東公園テニスコート管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	762	943	820
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	6,446	7,288	6,901	令和2年度	6,800
成果指標分析結果	施設利用人数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	漕艇センター管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成7年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	現在は、指定管理者制度に基づく管理運営が行われている。市内の学校利用も盛んに行われており、市内外から多くの利用実績をあげている。また、令和2年度はカヌー日本代表が合宿で利用した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	漕艇活動の振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	39,815千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	11千円
	一般財源	39,804千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	26,613千円	35,986千円	39,815千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	漕艇センター管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,508	1,102	2,268
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は「クルーのための体力測定」が好評であったこともあり、前年より大きく増加した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数(実績)	人	18,262	20,040	12,748	令和2年度	23,500
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	日岡山公園第1テニスコート管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成3年度～
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、概ね順調に管理運営が行われている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの進行により体力づくりの推進を図ると共に、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	2,654千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,654千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	0千円	0千円	2,654千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	日岡山公園第1テニスコート管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	0	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	0	647	713
モニタリングの回数	回	0	4	4
活動指標分析結果	自主事業のテニススクールが好評だったため。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	0	16,357	15,434		0
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	日岡山公園第2テニスコート管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に基づく管理運営が行われており、概ね順調に管理運営がなされている。また、近隣市町村では珍しいアンツーカコートを有している。一方で、冬季には霜の影響で、休場日が多い傾向があり、施設の維持管理に難しい課題がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図ると共に、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民および利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	2,881千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1千円
	一般財源	2,880千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	670千円	2,160千円	2,881千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>隣接する日岡山公園第1テニスコートと比較し利用状態が悪く、年間を通して安定した利用ができないことから、スポーツ施設再編計画に基づき、現在の指定管理者の指定期間である令和5年度末での廃止を検討する。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	日岡山公園第2テニスコート管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	156	760	1,374
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業のテニススクールが好評だったため。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	6,078	6,949	5,272	令和2年度	7,300
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園野球場管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和58年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市都市公園条例

【事業概要】

現状と課題	施設の利用は、種目協会を中心に高い利用率を維持できている。なお、平成24年9月の野口野球場の閉鎖に伴い、硬式野球での利用の要望が高まっているが、ファウルボールが近隣の住宅に飛び込むため、硬式の試合は禁止している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	19,245千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	238千円
	一般財源	19,007千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	16,365千円	19,274千円	19,245千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園野球場管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	125	0	13
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、計画値に達しなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	14,839	14,611	10,730	令和2年度	16,700
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	日岡山市民プール管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和52年度～
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市民プールの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度への移行に伴い、現在は民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は順調に推移しているが、老朽化が進んでおり、適宜、設備改修を行っている。また、プール事故への適切な対応が行えるよう、指定管理者には万全な管理運営を求めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健康づくり及びレクリエーションの振興に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	3,795千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,795千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	4,176千円	0千円	3,795千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の劣化が著しく、大規模な改修が必要となることから、スポーツ施設再編計画に基づき、現在の指定管理期間終了時（令和5年度）での廃止について検討する。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は休業となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	日岡山市民プール管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	0	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	0	944	0
モニタリングの回数	回	0	2	2
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は、新型コロナウイルス感染防止のため全面休場した結果、0人となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	0	22,879	0		0
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染防止のため全面休場した結果、0人となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	日岡山体育館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和53年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立日岡山体育館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度に移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	スポーツの振興により体力づくりの推進を図るとともに、市民の健康で文化的な生活の向上を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	62,148千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	202千円
	一般財源	61,946千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	59,542千円	58,080千円	62,148千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	日岡山体育館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	12,827	12,086	10,241
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	126,396	123,983	81,784	令和2年度	133,800
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	浜の宮市民プール管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市民プールの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度への移行に伴い、現在は民間事業者による管理運営が行われている。施設の利用は順調に推移しているが、老朽化が進んでおり、適宜、設備改修を行っている。また、プール事故への適正な対応が行えるよう、指定管理者には万全な管理運営を求めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の健康づくり及びレクリエーションの振興に寄与する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	5,620千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	496千円
	一般財源	5,124千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	6,647千円	9,882千円	5,620千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は休業となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	浜の宮市民プール管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	444	273	0
モニタリングの回数	回	2	2	2
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は、新型コロナウイルス感染防止のため全面休場した結果、0人となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	54,151	60,590	0	令和2年度	63,500
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染防止のため全面休場した結果、0人となった。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	武道館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成3年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立武道館の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定管理者制度へ移行し、現在、民間事業者による管理運営が行われている。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	武道の振興を支援するとともに、心身の健全な発達と体力の増進を実現する。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	施設の整備と適正な管理運営を行う。武道館の利用を通じて、武道の振興を支援する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	11,075千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	34千円
	一般財源	11,041千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	035 ウェルネス施設管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	8,177千円	17,181千円	11,075千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	施設の利用者は多く、利用者の満足度も高いため、引き続き施設の運営を継続する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	武道館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	3,912	3,474	2,442
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	40,055	48,395	26,331	令和2年度	42,900
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	旧平荘湖アクア交流館解体撤去事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	令和元年度～
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	閉館した旧アクア交流館の建物等が残存している。 建物には、未発掘の遺跡や埋没杭があり、解体に困難・高額となる可能性がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	閉館した施設を解体し、管理が必要な公共施設面積を削減する。
対象 ※誰、何に対して	旧アクア交流館
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	閉館した旧アクア交流館を解体するための工事等。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	9,141千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	9,141千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	042 旧平荘湖アクア交流館解体撤去事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	9,141千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 施設の解体が完了するまで、事業を継続する必要がある。

事務事業名	旧平荘湖アクア交流館解体撤去 事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
維持管理すべき施設数	棟	0	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設整備件数	箇所	0	0	0
活動指標 分析結果	令和3年度からの解体工事着工に向けた解体設計を完了した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設整備済件数	箇所	0	0	0	令和2年 度	1
成果指標 分析結果	令和3年度からの解体工事着工に向けた解体設計を完了した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	いずみプラザ運営管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	いずみプラザは、市内で唯一の天然芝専用グラウンド・ゴルフ場を有し、キッズルームを利用した保護者の評判も好評である。施設全体の利用者数は、市ホームページ等でのPR、ロコミなどにより増加しているが、グラウンド・ゴルフ場の利用に関しては、天候に左右される傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	高齢者の健康増進、安心して子育てできる環境の整備及び市民相互の交流の促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	グラウンド・ゴルフ場：単独からグループで利用する市民 研修室：講座や親睦会、学習会などに利用する市民 キッズプラザ：0歳から就学前までの子どもと保護者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	グラウンド・ゴルフ場、研修室、キッズルーム、芝生広場等を提供する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	9,916千円	
財源内訳	国庫支出金	232千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	949千円
	一般財源	8,735千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	050 いずみプラザ運営管理事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	9,428千円	10,318千円	9,916千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	高齢者の健康増進、子育て中の市民相互の交流の促進を図る意義がある施設であることから事業継続の必要性がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	いずみプラザ運営管理事業	部局名	環境部
		課(室)名	クリーンセンター

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	263,000	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
施設利用者数	人	5,740	5,197	3,190
活動指標分析結果	施設利用者数が、対前年度比で2007人減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	5,740	5,197	3,190	令和2年度	8,000
成果指標分析結果	研修室利用者は935人減少した。また、グラウンド・ゴルフ場は154人増加した。一方キッズルームは、2月の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、1226人減少した。したがって全体では2007人減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	野外活動センター管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01スポーツ・レクリエーション活動を推進する
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、加古川市立野外活動センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	開設後、年次的拡張整備を行うとともに、市民の生涯学習の場として平成5年度に宿泊館、平成6年度に工作館が竣工した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自然とのふれあいを通して子ども達の健全育成を図るとともに、市民の生涯学習を推進する。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	青少年の野外活動の場の提供、家族・小グループの憩いふれあいの場の提供、木工工作の場の提供を行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	3,182千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	556千円
	一般財源	2,626千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	08 保健体育費
目	06 野外活動センター費
細目	005 野外活動センター運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	4,057千円	3,915千円	3,182千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>子ども達を心身共に健全に育むためには、自然とのふれあいや野外活動体験は不可欠であり、市民に生涯学習の場を提供するためにも野外活動センターの運営は今後も引き続き継続していく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	野外活動センター管理運営事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	少年自然の家

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4才から70才までの市民	人	212,141	208,693	205,224

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
野外活動センター開所日数	日	305	305	306
活動指標分析結果	夏休み期間、ゴールデンウィーク期間は祝日も開所するなど利用団体の利便性を図っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
野外活動センターの利用者数（実人員）	人	9,801	10,914	3,582	令和2年度	4,000
野外活動センターの利用団体数（実件数）	件	1,334	1,223	687	令和2年度	700
成果指標分析結果	令和2年当初から新型コロナウイルス感染症関係により大きな影響を受け、利用団体の受入れまたは制限を余儀なくされた。					